

忠臣藏

帝キキ時代映畫

脚色者 監督者 撮影者
 上島 暁氏
 山下 秀一氏
 塚越 成治氏

主要役割

浅野内匠頭 松本 田三郎氏
 大石内蔵之助 尾上 紋十郎氏
 大石主税 中村 小福氏
 神崎興兵衛 實川 延松氏
 吉良上野介 片岡 童十郎氏
 脇坂淡路守 藤間 林太郎氏
 立花左近 嵐 徳氏
 萱野三平 鳴 徳氏
 大野九郎兵衛 里見 明氏
 清水一角 大河 慶三氏
 堀部安兵衛 東 夏之助氏
 片岡源五右衛門 明石 縁郎氏
 大石妻 阪東 豊昇氏
 尾崎 静子嬢
 千草 香子嬢
 歌川 八重子嬢
 安兵衛妻 歌川 八重子嬢

解説——「曾我」について山下秀一氏が監督製作した特作品である。
 略筋——元禄十四年三月十一日將軍綱吉天朝に年賀申せし答禮の勅使關東に下向あり傳奉屋敷に御着になつた。其の時鑿應役に選ばれた稲州赤樹の城主浅野内匠頭は鑿應匠番吉良上野介

寫 眞
 「忠臣藏」帝キキ山下秀一氏作品。右より片岡童十郎氏と松本田三郎氏



の驕傲忿怒からの侮辱に堪えかね遂に殿中にて刃傷した爲めその身は切腹せ付けられお家断絶となつた。江戸の事變を知つた赤穂城代家老大石蔵之助は大評定をなす同穴の士四十七名を得、故君報恩の仇討の計畫を立てた。赤穂開城と共に山科に閉居した大石は日夜祇園に亂行を重ね妻さへ離縁し遂に東へ下ることとなつた。その途中眞の武士立花左近の情けにより無事に江戸へ下り同志の苦衷はやがて實を結び遂に雪深き十二月十四日日出度本懐を遂げたのであつた。